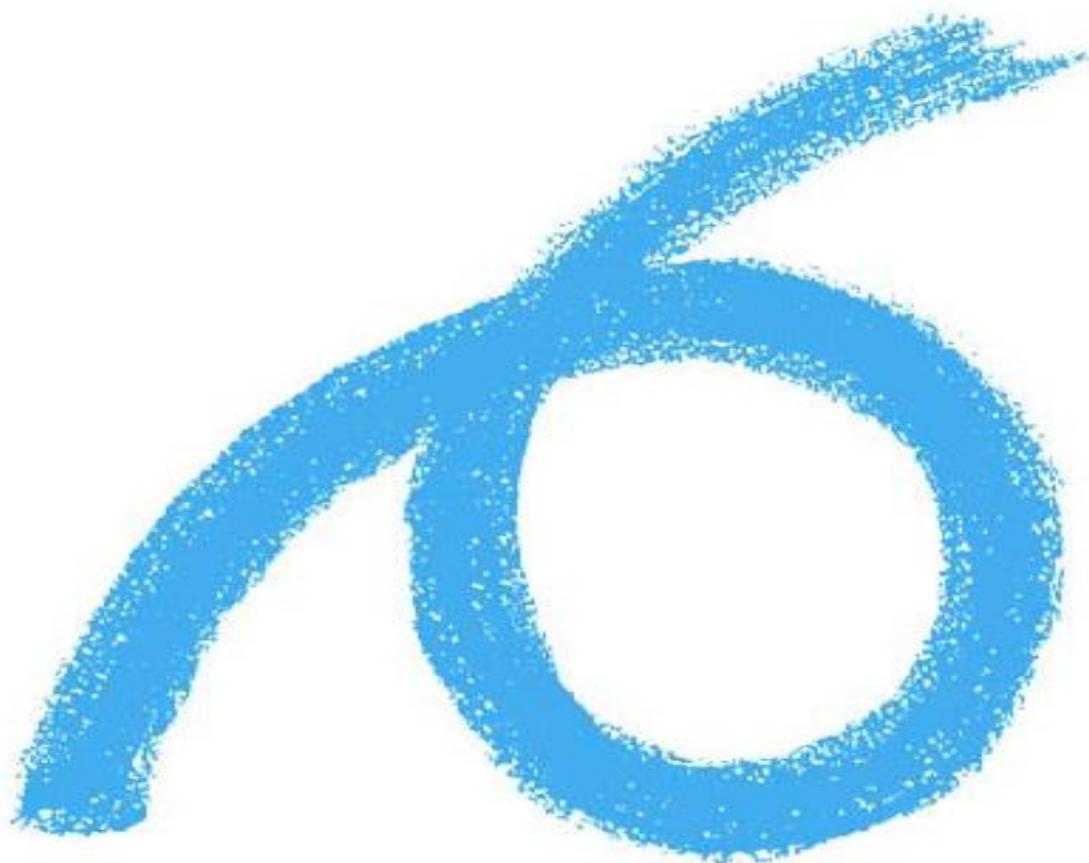


# 令和6年3月期 決算概要

～お客様と東和銀行のSDGs(持続可能な発展目標)の推進～



株式会社 東和銀行

# 令和6年3月期 決算概要

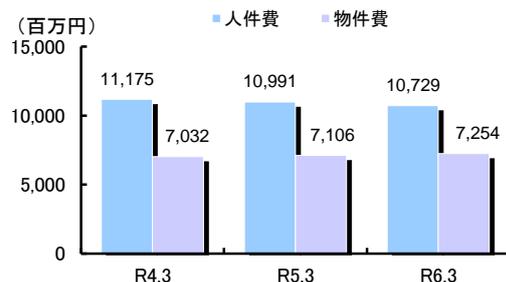
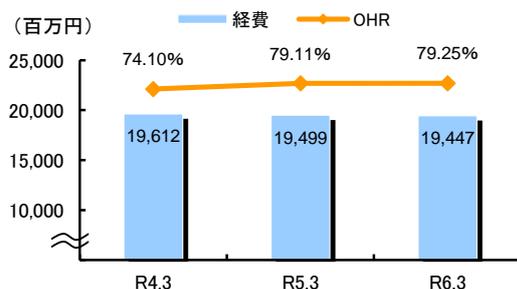
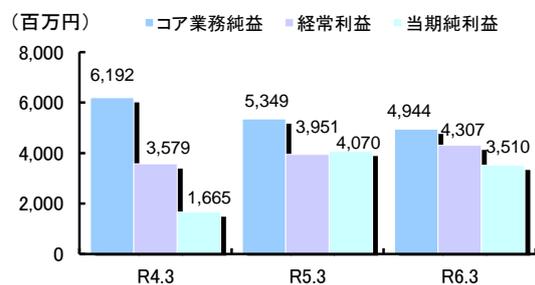
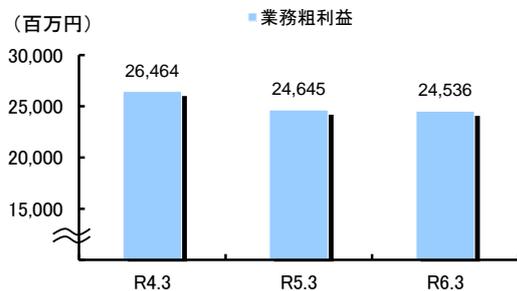
## 1. 損益の状況

令和6年3月期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が49億44百万円、経常利益は43億7百万円、当期純利益は35億10百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	R4年3月期	R5年3月期	R6年3月期	前年同期比
	通期	通期	通期	
業務粗利益	26,464	24,645	24,536	▲ 108
資金利益	22,931	22,183	21,579	▲ 604
役務取引等利益	2,353	2,595	2,766	+ 171
その他業務利益	1,179	▲ 133	190	+ 324
経費(除く臨時処理分)(▲)	19,612	19,499	19,447	▲ 51
OHR(業務粗利益経費率)	74.10	79.11	79.25	+ 0.14
うち人件費(▲)	11,175	10,991	10,729	▲ 261
うち物件費(▲)	7,032	7,106	7,254	+ 148
コア業務純益	6,192	5,349	4,944	▲ 404
一般貸倒引当金繰入額(▲)	▲ 763	▲ 423	▲ 724	▲ 301
業務純益	7,615	5,569	5,813	+ 244
臨時損益	▲ 4,035	▲ 1,618	▲ 1,506	+ 111
うち不良債権処理額(▲)	7,260	3,263	3,031	▲ 232
うち償却債権取立益	559	642	772	+ 129
うち株式等関係損益	1,917	▲ 24	3	+ 28
経常利益	3,579	3,951	4,307	+ 355
特別損益	▲ 290	1,006	▲ 35	▲ 1,042
法人税等合計(▲)	1,623	887	760	▲ 126
当期純利益	1,665	4,070	3,510	▲ 559



## 2. 主要勘定の状況

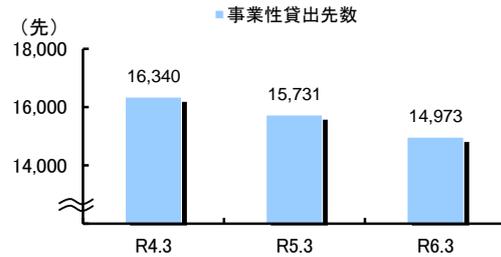
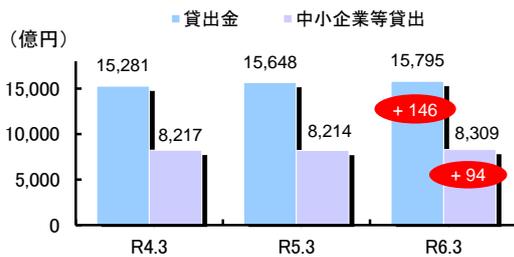
### (1) 貸出金

貸出金の期末残高は前年同期比146億円増加の1兆5,795億円となりました。また中小企業貸出の期末残高は、前年同期比94億円増加の8,309億円となりました。  
事業性貸出先数については、依然としてコロナ禍や原材料価格高騰の影響を受けるお客さまへの支援に注力したことや、コロナ禍で保守的に調達していた事業先の償還が進んだことから、前年同期比758先減少の14,973先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	R4年3月期	R5年3月期	R6年3月期	前年同期比
	通期	通期	通期	
貸出金(末残)	15,281	15,648	15,795	+ 146
うち中小企業等貸出	8,217	8,214	8,309	+ 94
事業性貸出先数	16,340	15,731	14,973	▲ 758



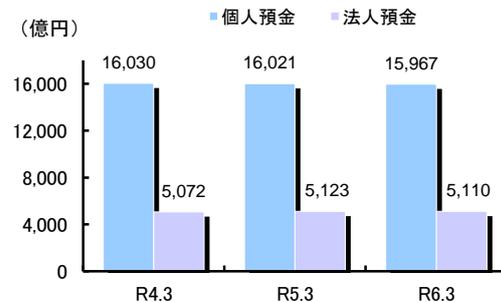
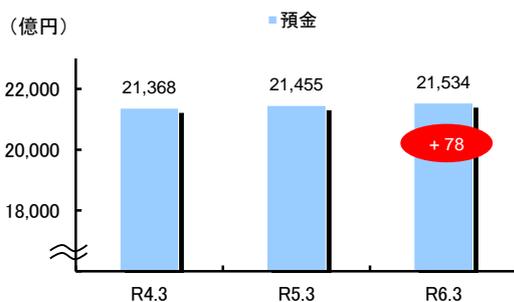
### (2) 預金

預金について、個人預金・法人預金ともに減少したものの、公金等を含めた全体の当期末残高は前年同期比78億円増加し、2兆1,534億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	R4年3月期	R5年3月期	R6年3月期	前年同期比
	通期	通期	通期	
預金(末残)	21,368	21,455	21,534	+ 78
うち個人	16,030	16,021	15,967	▲ 54
うち法人	5,072	5,123	5,110	▲ 13



(3) 預り資産

預り資産はお客さまの長期的な資産形成支援に取り組み、投資信託の販売額は266億円で純資産残高は813億円、生命保険等の販売額は135億円で販売累計額は1,622億円となり、また、国債等公共債の販売額は12億円で残高は32億円となりました。

《単体》 (単位: 億円)

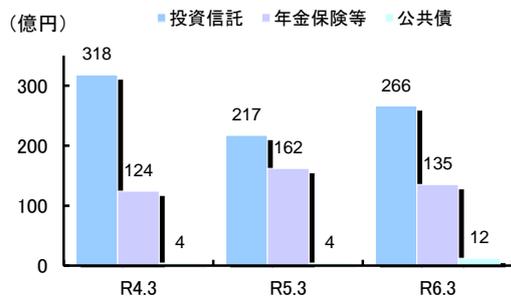
		R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
販売額	投資信託	318	217	266	+ 48
	生命保険等	124	162	135	▲ 27
	公共債	4	4	12	+ 7

《単体》 (単位: 億円)

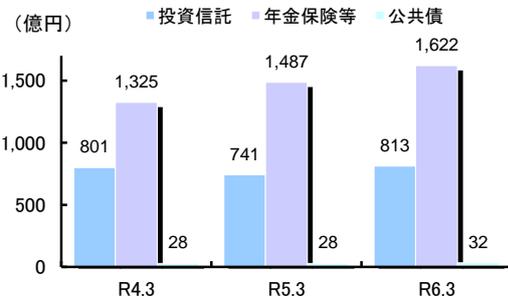
		R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
残高	投資信託	801	741	813	+ 72
	生命保険等(※)	1,325	1,487	1,622	+ 135
	公共債	28	28	32	+ 3

(※) 生命保険等は販売の累計額

販売額



残高



(4) 有価証券

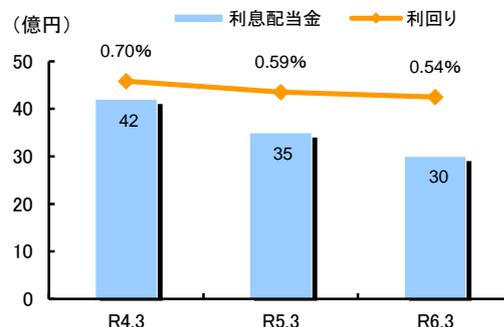
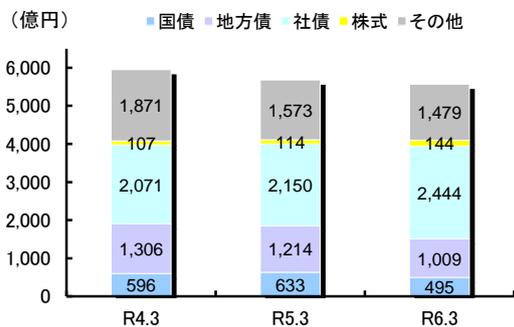
有価証券の当期末残高は、前年同期比113億円減少の5,573億円となりました。

《単体》 (単位: 億円)

	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
有価証券残高	5,953	5,686	5,573	▲ 113
国債	596	633	495	▲ 137
地方債	1,306	1,214	1,009	▲ 205
社債	2,071	2,150	2,444	+ 293
株式	107	114	144	+ 29
その他	1,871	1,573	1,479	▲ 93

《単体》 (単位: 億円、%)

	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
有価証券利息配当金	42	35	30	▲ 4
有価証券利回り	0.70	0.59	0.54	▲ 0.05



(5) 有価証券評価損益

有価証券評価損益は、内外金利の上昇を主な要因として、前年同期比28億円減少し、148億円の含み損となりました。

《単体》 (単位: 億円、%)

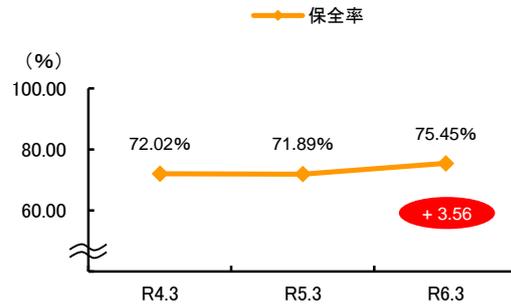
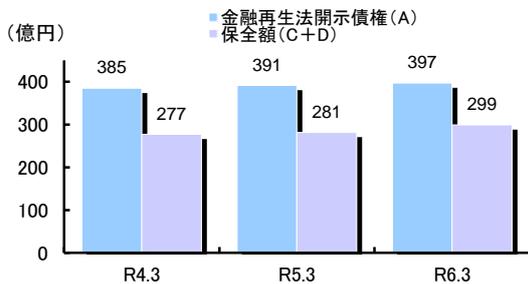
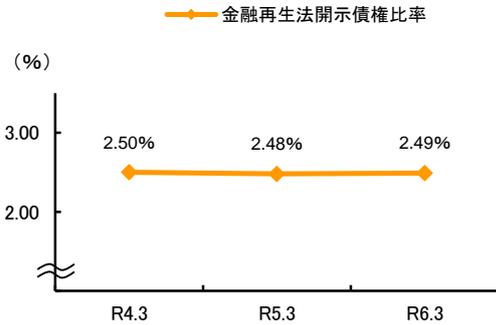
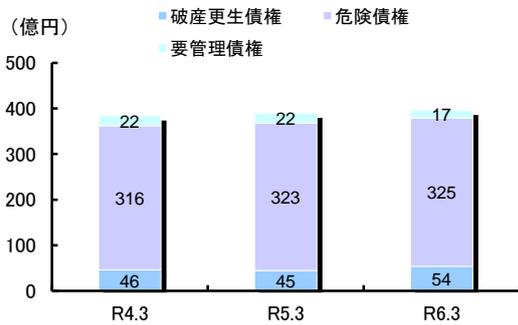
	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
満期保有目的	1	1	0	▲ 1
子会社・関連会社株式	-	-	-	-
その他有価証券	▲ 21	▲ 121	▲ 148	▲ 27
株式	13	21	52	+ 30
債券	6	▲ 61	▲ 121	▲ 60
その他	▲ 41	▲ 81	▲ 79	+ 1
合計	▲ 19	▲ 119	▲ 148	▲ 28

### 3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.01ポイント上昇し、2.49%となりました。

《単体》 (単位: 億円、%)

	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
破産更生債権	46	45	54	+ 8
危険債権	316	323	325	+ 2
要管理債権	22	22	17	▲ 5
小計(A)	385	391	397	+ 6
正常債権	14,975	15,367	15,528	+ 160
合計(B)	15,360	15,759	15,926	+ 167
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.50	2.48	2.49	+ 0.01
担保保証による保全額(C)	229	243	259	+ 16
貸倒引当金(D)	48	38	40	+ 2
保全率(C+D)/(A)	72.02	71.89	75.45	+ 3.56



## 4. 自己資本比率

自己資本比率は、積極的にプロパー融資に取り組んだこと等により、貸出金に占めるリスクアセットが増加したことなどから、10.05%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位: %)

	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	R6年3月期 通期	前年同期比
自己資本比率	10.51	10.44	10.05	▲ 0.39

